

WEEKLY REPORT

2024-25年度
国際ロータリーのテーマ

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19

名錦ビル7F

TEL：052-211-3803

FAX：052-211-2623

MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL：http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：大嶽 達郎

幹事：近藤 茂弘

クラブ広報委員：今川 知也

例会日：毎週木曜日 PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2024-25年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリーを考えよう」

～より良い瑞穂ロータリーのために～



第2106回例会

～基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2024年9月26日(木) 晴 第10回例会

司会：村上学 会場委員長

斉唱：「日も風も星も」

ゲスト：認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田暢之様
米山奨学生：Darian Ashlee Gore さん

会長挨拶

大嶽達郎会長

皆様こんにちは。私事ですが、今日は私の誕生日です。65歳になります。そして、65年前の今日は伊勢湾台風が来た日です。伊勢湾台風の日には生まれました。ということで、伊勢湾台風の話をしたしたいと思います。



その前に、先週の土曜日、能登半島で大雨による、大変な災害がありました。台風14号の影響で秋雨前線が刺激されての大雨ということです。1月の地震による被害の復旧途中での災害ということで、大変な思いをされている被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

伊勢湾台風の規模は、最低気圧895hPa、最大瞬間風速75m/s、その勢力があまり衰えないまま紀伊半島に上陸しました。被害状況は、犠牲者5,000人超、負傷者は約3万9000人。全壊家屋約3万6000棟、床上浸水15万8000棟、被災者数は全国で約150万人、うち、愛知県は約80万人、当時県全人口の約2割が被災しました。

名古屋港では、4メートルの高潮が観測され、大量の海水が堤防を破壊し、市街地に押し寄せました。死者・行方不明者の7割が高潮によるものです。さらに名古屋港の貯木場から、長さ10メートル重さ7～8トンにもなる丸太の大群が、高潮に乗って市街地に大量に流れ出し、住宅を破壊し、被害をより甚大にしたということです。この伊勢湾台風を教訓として、1961年に災害対策基本法が成立されました。

また建築基準法の風に対する構造基準も、伊勢湾台風クラスを基準とされています。気象庁が、台風被害を防ぐため家庭での、基本的な対策を出しています。まず、窓・雨戸・カーテンを閉める。建物に当たりそうな、樹木の枝の剪定、側溝・排水口を清掃し、風に飛ばされそうなものは、室内へ移動させるか固定する。不要な外出は控え、危険な場所へは近づかない。そして、非常用アイテムを常備。避難場所の確認、台風情報などの情報収集を行うということです。

どうしても外出する時に、注意する建築物として、古い瓦屋根の住宅があります。古い工法は、粘土の上に瓦をのせ、銅線でひっかけているだけのものが多く、風速15m程で飛びます。よくテレビでブルーシートがかけられている住宅の映像を見ますが、ほとんどが古い瓦屋根の住宅だそうです。同じように、飛びやすい建造物として、アルミ製のカーポート、看板、建築現場の足場シートなどがあります。また、ガラスが割れて、ガラスの破片による被害もかなりあるそうです。

また、ビル風というのがあり、高層建築物の側面の地上の風が増大します。条件によっては、1.5倍の風速になる場合もありますので、注意が必要です。油断すると飛ばされてしまいます。

やはり、台風の時に大事なことは、外出しない。ということです。まだまだ台風シーズンが続きます、私も台風が来た時は、飲んでいても、早めに帰宅して、台風に備えたいと思います。

出席報告

大和直樹 出席委員

会員68名 出席39名 (出席計算人数57名)

出席率 60.94%

ニコボックス

大和直樹 ニコボックス委員

- 立派な記念品ありがとうございました。 森 恒夫さん
- 今日は、私の誕生日です。65才になりました。今日から敬老バスが使えます。 大嶽 達郎さん
- 妻に美しいお花ありがとうございました。 長瀬憲八郎さん
- 鈴木淑久さん、昨日はありがとうございました。栗田代表、本日の卓話 よろしく願いたします。 大和 直樹さん
- レスキューストックヤードの栗田さん、卓話楽しみにしています。 近藤 茂弘さん 加藤 直大さん
- 久しぶりの例会出席です。本日、レスキューストックヤードの卓話楽しみです。 長谷川 隆さん
- 福岡さんにお世話になりました。ありがとうございます。 鈴木 淑久さん
- 久しぶりに例会に出席しました。 田中 宏さん
- 9/19リスペクト例会で江戸切子のタンブラーを頂きました。毎日美味しいお酒が飲めます。ありがとうございました。 長坂 邦雄さん

幹事報告

近藤茂弘幹事

- 9/26 (木) 第2回長期ビジョン委員会 13:40～ ヒルトン4F「美杉の間」
- 9/30 (月) IAC例会瑞陵高校4F社会科室 16:30～
担当：鈴木実さん・長野義明さん 米山奨学生：ダリアンさん参加予定
- 10/3 (木) 例会 12:30～ ヒルトン4F「桜の間」
推薦委員会 13:40～ 推薦委員会 ヒルトン4F「杉の間」
- 10/10(木)R規定により休会
- 長野義明さんの社名変更がありましたのでご連絡申し上げます。
10月1 日より会社名が「株式会社長野電気工業所」から
「株式会社長野電気」に変更となります。

奨学金授与

Darian Ashlee Goreさん



委員会・同好会報告

青少年奉仕委員会

先日、瑞陵高校の森先生からご連絡がありまして、今月9月28日夜10時からNHKスペシャルにて、瑞陵高校の生徒さんが出られるそうです。いろいろな理由があって、OGのほとんどと現役の半分くらいがインターアクトの生徒さんです。映るのはほんの数分ですが、是非見てやっていただけると幸いです。とのことです。皆さん、よろしく願いいたします。

ゴルフ部会9月度 (449回)

開催日:9月20日(金)

緑ヶ丘カンツリー倶楽部にて第449回ゴルフ部会が開催されました

氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝 内田 久利さん	84	10.8	73.2
2位 湯澤 信雄さん	89	15.6	73.4
3位 加藤 直大さん	91	16.8	74.2

ご紹介いただきました、レスキューストックヤードの代表理事の栗田と申します。今日は貴重な機会を与えていただきまして、本当にありがとうございます。

今、能登半島地震の対応でかなり緊張が高まっております。先ほどまでも会議をしておりましたが、二重の被害を受けた、特に輪島、珠洲、能登町は一部、私どもは2007年の1個前の能登半島地震の時に、穴水町に入って、今回の1月3日から穴水町に入ってスタッフを常駐させて、私も3月までは毎週、4月に入ってからは隔週で現在も穴水町に通い続けていますが、今回線状降水帯が能登半島の北の方を通過したので、輪島と珠洲が災害を受けました。



穴水はもう少し南の方にあったので、とにかく道路冠水とか豪雨の影響はありましたが、ギリギリセーフといった段階で、今日も穴水にいろいろ保管してあった生活用品とか水を持って仲間に呼びかけたところ、2,000ケースぐらい届きましたので、それを今、珠洲の介護老人福祉施設へ持っていきました。

実は5月5日に珠洲市で大きな地震がもう1個ありました。その時に私どもも含めて支援に入りましたので、その時に出会った民生委員さんとか、地域のキーパーソンの方々と連絡をとって、今回の水害に対してどうなっているのか、やっぱり断水があるので水が欲しい、というようなこともあったので、今届けている最中です。ということも穴水からやっています。

一方で、私たちにあって、被害報道は、最近ではテレビで見ただけとなっておりますが、いよいよ南海トラフ地震が来るんじゃないか？ということが懸念されております。地震に関しては、私も名古屋大学大学院を出ていますので、いろいろ地震学の先生からお話を聞きましたが、私のようなものでは説明できませんが、でも先生方が言われるのは、どんなパターンで、南海トラフ地震がいつ来るかというのは、これだけ社会が近代化しても、それは誰もわからないということなんです。今まで予知、予知と言っていました。その予知は不可能だというふうな地震学会も敗北宣言を出しております。わからないんです。わからないんだけど、分かっていることをしゃべると、こういうことになる。という説明をさせていただきます。

317年前に宝永の地震がありました。この時には、今の南海トラフと言われるエリア、昔は東海地震、東南海地震、南海地震と言っていました。東海地震のエリアと南海地震のエリアと東南海地震のエリアが、私たちに一番大きな影響を与えます。南海地震は四国に影響を与えます。

この地震3兄弟とも言いますが、その3つの地震が連動した形で317年前は地震を引き起こして、49日後には富士山が噴火しております。これは歴史上の事実なので、こういうことがあったということは、揺るぎのないものですが、それが147年というこのプレートのところにエネルギーを貯め続ける、これが解放されて地震が起こるといことがわかりますが、147年地震のエネルギーを貯め続けて、170年前の安政地震の時には、東海と東南海が起きて、32時間後に南海地震が起きました。変則パターンです。今度は92年という非常に短い時間の中で地震が起こってしまいました。1945年の戦争の終戦を挟んで、その前の年に東南海地震、2年後に南海地震がおきました。

安藤先生は時間モデルというのをい出されて、大きいのが起きました。中ぐらいが来ました。東海地震の昭和の時はちょっと小さかったです。昭和の地震の時にこの東海地震が起きていないので、もう30年ぐらい前から東海地震だけが来るんだ。と言われていたけれども、この南海トラフではたまたま小さかっただけで、ここだけ来るというのは今まで観測されていないので、小さかったんじゃないかということ考えると、大中小と来ています。

時間モデルで考えると、どう考えても今世紀の前半には来ないとおかしい。という計算になるわけです。だから、南海トラフ地震が来る。近い将来に来ると、ただいつ来るかということは誰も分かりませんが、あれから80年が経ちました。だから、もうちょっと時間があるんじゃないかかと思いがちですが、ただ相手は自然だから分からないんですよ。

鹿おどして水がたまって、水を吐き出してコンって上がりますよね。あれを例にしても、地震の場合は自然現象なので、水がいっぱい溜まらないのに出しちゃったとか、水がいっぱいたまったらはずなのに、ちょっとコンという時に水を全部出しきらずに戻っちゃったとか、自然現象なのでいろいろパターンがあるんだ。要するに、前の地震は小さかったということは、それだけ次のエネルギーをためる時間も少ないはずなんだということを言われる先生もある。そういう意味では、今後30年±15年で地震が起きるんだ。30年以内の確率が70%から80%と言われてるのが、南海トラフ地震の正体です。

今回の注意情報、ややこしかったのは、今いっぺんに来る地震のことばかり私たちがイメージしますが、じゃあ私たちが、例えば南海地震が来たらどうしますか？南海地震が来た時に、いつ東南海地震が来るんだ、東海地震が来るんだ、前の時には、これは32時間後でした。だけれども、昭和の時には2年もかかりました。じゃあどうすんだ？という話の時に、注意情報とか警戒情報ということが言われたわけです。今回、この南海トラフが来るというこの

領域にプラスして、ここに日向灘が出てきました。地震4兄弟の一番末っ子で仲間入りしました。

結局、東日本大震災って誰が想像しました？宮城県沖地震というのは、99%の確率で来る。と言われたんですよ。ところが、三陸沖、宮城沖、そして茨城沖、福島沖、こういう地震が一度に起き、東日本大震災起こったわけです。こんなことは誰も言っていないので、国としてもこの南海トラフを狭く限定した領域で捉えるじゃなくて、日向灘も含めた地震のことを考えていないといけない、というのが最新の南海トラフという考え方です。

そのことを整理したのが地震の注意報とか警戒なんです。予知はできないけれども、日向灘でこの間、宮崎県でマグニチュード7.1の地震が起きました。なので今決めたとおり、7.1以上の地震があった場合には注意情報を出しました。これは数値から言うと、今までの警戒レベルが0.3%とすると地震が起きるかもしれないという確率は0.5%に増えただけなんです。報道で見ると、もう明日にも、名古屋に大きな地震が来るみたい。というような煽りもありましたけれども、絶対感わされちゃいけない、マグニチュード7.1の地震が起きたので、国の考え方に基いて注意をしましょう、ということです。私はあの情報が出て、特に米がなくなったとか、水がなくなったとか、いろいろありましたけれども、でもそれは国民がきちっと備えようと思ったことを行動に起こしたということで、私自身は前向きに捉えています。その南海トラフの今の情報がそうした規定に基づいて出て、1週間何もなかったの、それが解除されたというだけの話なんです。

名古屋大学・鷲谷教授(地震学)はこのように言われています。地震のリスクは日本に住む限りいつでもあり、臨時情報はそのリスクが僅かに増加した可能性を知らせるものですが、通常の生活において行動を変える必要の変化ではありません。本来、日常的に注意すべき防災への備えをこの機会に再確認してほしい、と言う趣旨で出ている情報ですので、そのあたりを丁寧にお伝えいただければと思います。

南海トラフのCGの映像と、本当に起こった再現CGの映像を見比べると、同じ都市型は、火災が起きます。日本が持っている消防力だけでは難しい。燃えっぱなしになってしまいます。さらに、今後の南海トラフ地震は、東から西まですべて大きく揺れて、津波が来るということなので、他所から助けに来るといことはほとんど無理じゃないかと思っています。

亡くなる方の想定が32万3,000人と出ています。阪神大震災で6434名。東日本大震災でも行方不明者とか関連死を含めると2万人ちょっとです。ちょっとスケールが全然違う災害が、間もなくやってきようとしています。名古屋はどうなるかという。特に西側の方が非常に揺れます。6強過ぎます。瑞穂区は一部6弱。それでもかなり揺れますので、人は5以上の地震体験者を怖くて動けられないようになっているようです。

この防災というのは、災害が起きてからも大事だけど、起きる前に何をしておくかということが一番大きな課題となってまいります。亡くなった方のほとんどは、阪神大震災の場合は、家の倒壊などで下敷きになって亡くなりました。東日本大震災、津波で亡くなりました。

やはり避難所の中で、熊本地震で避難された方々が関連死という形で亡くなったという事例もございまして。能登半島地震も関連死の方がどんどん増えています。亡くなった方の直接死は二百何十人ですから、もうそれを越えるんじゃないかと言われてます。そういう状況の中で生き残った方の、避難生活をどうやって支えていくのか。硬い床の上で毛布1枚配られて寝てくださいって話になるわけですね。

いろいろ話したいことはありますけれども、能登半島地震は今まだ現在進行形の課題として、私どもも最初に申し上げたように、穴水町の拠点に張って仮設住宅の支援活動とか様々なことをさせていただいております。

これからもこうした被災が起きた時の支援と、そして要望とか防災について、これからも私たちはしっかりと現場で見たこと、現場で生の声を聞いてきましたので、それをお伝えしていくことを続けていきたいと思っています。今日は貴重な時間をどうもありがとうございます。

例会のご案内

■今 週 10月3日 (木)

卓話者：米山奨学生 Darian Ashlee Goreさん
場 所：ヒルトン名古屋4F 「桜の間」
時 間：12:30～13:30

■次 週 10月10日 (木) R規定により休会

■次々週 10月17日 (木) ガバナー補佐訪問

場 所：ヒルトン名古屋4F 「桜の間」
時 間：12:30～13:30